

消防・防災

甚化する自然災害に備えて防災・減災の取り組みを、引き続き推進してまいります。

(1) 消防体制強化

複雑・多様化する災害に対応するため、消防職員、団員を消防学校等の研修に派遣し消防業務の知識及び技術の向上を図ります。また、今後、東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフ地震等の大規模災害に備え、緊急消防援助隊の訓練や各種訓練に参加し、本町における大規模災害発生時の受援、応援体制を確立してまいります。

(2) 救急業務

救急業務については、救命率の向上、傷病者の負担軽減等質の高い救急医療を住民に提供するため、計画的に病院実習や追加講習を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症への対応等、救急隊員の技術向上と救急出動態勢の強化に取り組んでまいります。また、本町においても住民によるAEDを活用しての応急手当により救命効果事例がありました。引き続き、町民

及び事業所等へ応急手当普及啓発を推進してまいります。

(3) 火災予防

住宅火災による死傷者等を未然に防ぐ目的で、設置指導を行っている住宅用火災警報器の設置率の向上及び適切な維持管理を推進してまいります。また、ホテル、民宿等の防火対象物が安心・安全に利用できるよう立入査察を強化し、違反是正の強化を図ってまいります。

(4) 地域防災

地域の防災力を高めるために、消防団や自主防災組織及び女性消防クラブの育成強化を図り「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを基本に、社会環境の変化に即した消防防災体制の充実強化を図りながら災害に強いまちづくりに取り組んでまいります。

(5) 防災体制の強化

防災体制については、さまざまな規模の災害に対して迅速・適切に対応できるよう体制の強化を進めてまいります。災害に強いまちづくりを目指すとして、防災行政無線のデジタル化等、発信体制の充実を図

ると共に、観光客への災害情報発信に取り組んでまいります。また、新型コロナウイルス感染症防止に対応した避難施設の機能強化、災害対応資機材の備蓄や災害時に備えた物資等の供給体制強化についても引き続き取り組んでまいります。よって、令和3年度予算案の総額は、次の通りであります。

以上、令和3年度の町政運営にあたり、私の所信について申し上げます。新型コロナウイルス感染症の災禍を乗り越え、また「人口減少」に歯止めをかけるという大きな課題と向き合いながら、「すべての世代が生き生きと暮らせる島」「町民が安心して暮らし続けられる島」を目標にし、町民一人一人がともに知恵を出し合い、協力し合いながら行う、「協働のまちづくり」「夢つむぐ島」の実現に向けて取り組んでまいりますので、町民の皆様と議員各位のご理解、ご協力をお願い申し上げます。ご協力をお願い申し上げます。

一般会計

7,425,004千円

国民健康保険特別会計

1,040,931千円

後期高齢者医療特別会計

84,567千円

下水道事業特別会計

230,309千円

上水道事業

276,761千円

総額

9,057,572千円

